



十五年産の茶種

假標準査定會

東北六縣の標準査定に送る

十五年の茶種假標準査定會は、今十三日午前十時から農林省倉出張所にて主要産地である石城郡下及び双葉郡長塚並に富岡方面から蒐集の交付品により行はれ、縣から草薙本所技手出張右主産地支所長その他と共に査定に當つたが、この査定決定品を提出する農林省の東北六縣査定會は来る十七日日本省に於て施行される石城の茶種は例年東北の標準に推されてゐるので本年も當然その際を占むるであらう、尙ほ同査定會を終る縣農林省では平支所管内事務研究會に併せて同地方にとり最も重要な供出米についても打合せを行ひ消費地である石城の需要給調整に關しても協議をするところがあつた

茶種の減産に

油給リンク制

四倉榨油所で

石城及び双葉から出る茶種は年産三千俵(昨年は三千二百一十一俵)を超えてゐるが、出廻り期となつた本年産は四倉農林出張所にまだ十餘俵の出荷に過ぎない、産出線は前年に比し二割程度の減少かと言はれてゐる、その結果原料不足の石城販利四倉榨油所は同増産策として、製油の配給にリ

防訓第一期の指導督勵

今十三日から實施の第一期訓練指導にあたる平野では左記擔當區により昨報せる廣告、看板、裝飾門軒燈の管制(午後七時より同九時まで)及び諸準備につき督勵されてゐる

米も木炭も漸次窮屈を緩和され

肥料も漸く活潑なる動き 平驛の七月上旬貨物

平驛に於ける七月貨物の上旬成績は引續く好況で發送三三三七ト、到着六〇三二ト、收入七八六五トを上げ昨年同期に比すれば發送で九〇五噸到着で二四二噸收入で二五八噸を増加した原因は特殊貨物の激増によるもので上旬貨車は小車が多かつた爲め輸送量に意の如くでなかつたものがあるが今中旬は大車の廻りがあるので更に増収を見込まれてゐる、主なる動き左記の如く米及び木炭の類も漸次窮

石城郡町村長會で永年勤続表彰

石城郡町村長會では町村吏員左記の永年勤続者を表彰した

- ▲十五年六月四日倉町収入役 渡邊安次郎、十五年三月月好間村収入役 中村益平、十五年二月小川組合村書記 西山秀代、十四年八月三坂組合村書記 若松緑、十四年六月大野村書記 馬場上豊、十三年十月水戸村収入役 渡邊謙(以上)

| | |
|------|---|
| 支那軍語 | どうして斯やうな御心遣ひをして下さいますか、有難うございます、と言ふことをは悠何必遺棄費心泥謝々でニホーニシエーと言ふやうに唱ひるのである |
|------|---|

支那軍語

どうして斯やうな御心遣ひをして下さいますか、有難うございます、と言ふことをは悠何必遺棄費心泥謝々でニホーニシエーと言ふやうに唱ひるのである

戦地の便り

時局に目ざめた女性が喜ばしい

石城郡飯野村出身 志賀勝次

拜復、過日は詳細なる近状の御便りを頂き誠に身に余る光榮と感謝し厚く御禮申し上げます、今頃は銃後皆々様には最も御多忙なる農桑期を漸く終了されて居るかとせう、先生には何時もながら御懇切なる御指導後の鐵壁に盡されて居らるゝことを御察し致し我々も安心して御奉公致して居ります、何より心配であつた肥料の配給も都合よく渡された由、これも先生等の御骨折の賜と感謝してゐます、中堅農民講習生も内講者が増加し殊に女性の多いことは喜ばしく戦時下の女性も大に時局に目ざめて來られた譯です、先生方の多年の御教訓が漸く實を結ぶところとなつたものです、我が

六十一歳の鮑行商で献金

江名町の下神白高津よりさん(六)は鮑を行商して得たる利益金から廿金圓の恤兵献金を入役渡邊謙(以上)

小學校兒童の桑條剥皮百三十余貫

縣が獎勵してゐる桑條剥皮を勿來町小學校兒童は第一面分として七十二貫七百匁を採り昨十二日山梨縣扶桑製糸へ送り賞當五十五貫、合計價格三十九圓九十八匁を收入したが、小學校でも三十貫、また植田校では三十余貫を同社に送つた

精神國民百人一首

書架を整理して不圖こんなものを見出した、それは現代書壇の巨匠橋本關雪書伯が選集印刷したものを藤下博氏が複製頒布したもので其編輯と頒布の理由は書伯の序文と藤下氏の慶呈の辭で明瞭であるから兩つながら採録することにした、(紙上質問に御答へ致します)

私はこの機会に勳王烈士の歌を百人集めてみる氣になり手あたり次第に書き抜いてみることが出来る、そんな風に考へて見た、然し、専門でない歌に多少の杜撰があつても許されやうが書の方は自分自身に讀んで貰ふかたは已に流れて居ないが、文字だけで

神谷出身、立花部隊に屬して活躍中の五月十二日襄陽東南約六里の戦場に於て壯烈な戦死を遂げたる旨部隊長から實家へ通知、同君は勝雄氏(五七)の二男で應召前まで東京東區大島町銅材株式會社に勤務してゐた眞面目な青年であつた、

小學生國防献金

平第一校學五生磯山實司君は小遣を節約して貯めた金三圓を國防献金方今十二日市役所に寄託す

自衛團旗樹立式

石城郡好間村の古河炭礦自衛團では今十三日午前九時同礦講堂に於て團旗樹立式を舉行し、平野から白井次席警部參列す

蠶兒健育に新藥

蠶兒飼育の藥品「繭素ケンマス」は東京市豊島區高田町三の七九ケンマス商會から發賣するもので其の研究に顯著な効果を認められてゐるが原料不足の爲め春蚕には各希望者の意を満たし得なかつた

興亞の礎

石城出身の勇士 志賀勝次

石城出身の勇士、神谷村の中と私は机のひき出しに入れてそのまゝになつて居た。

本年春ある雜誌社社員を募集するに際し、藤下以外の勳王家十名の名を擧げる様問題を出したら一人も満足に答へるものはなかつたと記してあつた、私はこの記事に刺戟され再び舊稿を出し日常の用事の間に訂正補足し、とにかく印刷することにした、一人でも多く讀んで貰ふと言ふ條件から言つて單調ならざらんとことを補ふために、南北朝に遡り、明君、烈士、篤學、烈女と言つた人々をも網羅した、同じ歌でも上述の如く書

部落常會婦人部の會同

平市第一區長橋町では昨十二日夜七時から桑原接骨院に婦人常會を開き國民貯蓄部米及び金集中等精勵運動につき川角區長、川崎委員、長谷川觀學の講演ありたる後申合せあつたが出席五餘名、また第三區南町でも當夜平産看校に

蠶兒健育に新藥

蠶兒飼育の藥品「繭素ケンマス」は東京市豊島區高田町三の七九ケンマス商會から發賣するもので其の研究に顯著な効果を認められてゐるが原料不足の爲め春蚕には各希望者の意を満たし得なかつた

興亞の礎

石城出身の勇士 志賀勝次

石城出身の勇士、神谷村の中と私は机のひき出しに入れてそのまゝになつて居た。

興亞の礎

石城出身の勇士 志賀勝次

石城出身の勇士、神谷村の中と私は机のひき出しに入れてそのまゝになつて居た。

病 業 方 回

雪がれたる

蜜蜂の汚名

(下) 作物を害する處か
むしろ必要である

降雨の五日間を除いての蜂群は蜂見数七千七百八十四匹に増加したのみで殆んど四月五日の蜂群内容と差異なく、開花期間中狭い網室内で順調に育児が行はれてゐたことが認められ供試蜂種の發育も各種とも殆んど差異なく花期三十二日開を通じて凍害、倒伏病、虫害等は皆無であつた、しかしして昨年供試の千葉早生一號の試験成績は未だ茨胚珠數結實、粉數等についての試験を行ふに至らないが、結實成績は問題はなく、有蜂區において優れ無蜂區においては殆んど結實を見ない結果となつた、

即ち以下の數字は中間調査ではあるが一穂についての着花數を見るに有蜂區においては總數四十七ヶでこれに對する結實四十一ヶ、下結實數五ヶ、結實歩合は八十七%に達してゐる、これに反し無蜂區において着花總數六十七ヶに對し結實數は僅かに四個、不結實歩合は六十三個の多數で結實歩合は六%と言ふ有様で結實歩合において有蜂區は無蜂區は無蜂區に比し八十一%の多數を占めてゐる、

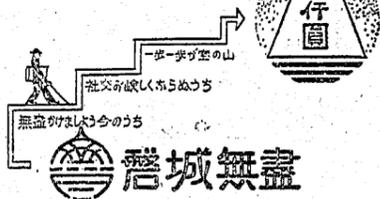
以上の如く蜜蜂の花粉媒介は決して有害にあらず蜂類その他昆虫類の媒介によつてのみ良好結果を得られるものであり農作物にとつて有害どころか反對に必要であることが立證された(完り)

肉の御用命は

三三三屋

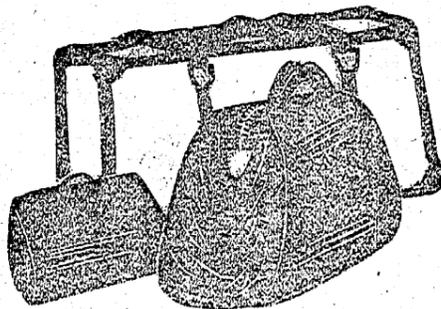
牛も豚も優良品の自慢

「貯蓄は無盡で」



無盡の貯蓄

類品洋とンバカ



(話電六) 屋砂真 (前驛、市平) (り通道新)

應入
需院

内科、小兒科

大森醫院

醫學士 大森 勇

平市南町 電二五八番

大小の御宴會にホール
御家族の御同伴に御座敷
いつも材料を吟味して居ります

マルトモ食堂

平市四丁目(電話二二三番)

平田町(三丁目裏川岸通)
明雲堂眼科醫院
入院應需(自炊の便あり)
電話六六九番

病室増築、手術室完備
産科 醫學博士
婦人科 **五十嵐雄二**
平市新川町「電話三六九番」

喫食 事。
酒場を兼ねた。

レストラン サロ

平市銀座街
電話五九二番

営業時間
開店：午前十時
御食事は午前十一時より、
閉店：午後十一時限り、

債券、公債
両替、金融
多田洋貨店
平市大工町 電話五九一番

和洋結髪
パールネックレス
何卒御用命の程を
手塚美容院
平市新田町

平病院 (平市元共濟病院跡)
院長 醫學博士 鈴木定藏
副院長 高橋俊幸
小兒科 院長 鈴木定藏
皮膚泌尿器科 院長 鈴木定藏
物理療法科 院長 鈴木定藏
藥劑科 部長 吉本孝平
診療時間 毎日午前八時より午後九時まで
夜間診療に從事す(急患は此の限りならず)

内科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科
平市田町 電話五二三番
高久病院
院長 醫學士 高久忠

專 門 皮膚科
泌尿器科
性病科
時間 午前八時より午後九時まで
醫學博士 江尻伊三郎
平市田町 電話六九一番
院醫尻江